

スポーツ医学について学ぶ

科目責任者 枝 伸彦

学年・学期 1 学年・3 学期

I. 前 文

スポーツと医学は密接な関わりがあり、①スポーツ医学の基礎領域、②スポーツによる医学、③スポーツのための医学の3つに大別することができる。本講義を通して、スポーツにおける医師の重要な役割について考察し、スポーツドクターに求められるスキルや、直接スポーツに関わらなくても必要な知識等について理解を深める。

※実習を伴う講義のため、受講者数の上限を6名とする。

II. 担当教員

講 師 枝 伸彦 (基盤教育部門)

III. 一般学習目標

スポーツを支える医師の重要性について理解を深めると同時に、健康維持増進における運動の医学的価値を学び、実践できる能力を養う。

IV. 学修の到達目標

- 1) スポーツ医学の概要やスポーツドクターの役割について理解を深める。
- 2) 内科的スポーツ障害やスポーツ外傷の種類と対策について理解を深める。
- 3) スポーツ外傷時の応急処置を実践できる能力を養う。
- 4) 運動の健康効果について理解し、健康づくりのための運動を実践できる能力を養う。
- 5) アンチ・ドーピングについて理解を深める。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	10	7	水	4	スポーツと医学の関わりースポーツドクターとはー	枝 伸彦	2
2		14	水	4	アスリートのコンディショニング	枝 伸彦	2
3		21	水	4	スポーツ外傷とリハビリテーショ	枝 伸彦	2
4		28	水	4	運動による健康効果	枝 伸彦	2
5	11	4	水	4	スポーツ医学実習	枝 伸彦	4
6		11	水	4	スポーツとアンチ・ドーピング	枝 伸彦	2
7		18	水	4	スポーツ医学に関するグループ発表	枝 伸彦	3,5

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

授業態度・出席（60%），レポート課題（40%）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

必要な資料等は適宜配布する。

VIII. 質問への対応方法

随時，受け付ける。（E-mail: n-eda@dokkyomed.ac.jp）

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート課題について，適宜，フィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（30分）：スポーツと医学の関わりについて情報収集し，考察する。

事後学習（30分）：スポーツ医学に関する各講義内容について自身の考察まとめて提出する（LMS）。

XII. コアカリ記号・番号

GE-04-01-04, RE-01-02-01, CS-02-04-07